

## 社会の一員として

野田東部中 三年 今井彩未那

私は、このごろ、驚くニュースをよく目にします。アルバイト感覚で軽い気持ちから他人の家に侵入したり、ものを奪うだけでなく人を傷つけたり、命を奪ったりするような犯罪です。刑法犯認知件数は減少傾向にはあるようですが、そのようなことがどこかで起こっているかと思うと、悲しくなります。なぜ、犯罪を起こしてしまう人がいるのでしょうか。根本的な背景として、何があるのでしょうか。

日々、私たちは人とのかかわりの中で生きています。その中で、かけられた言葉や相手からとられた態度などでストレスを全く受けないということとは、ほぼないと思います。それらが自分でも気がつかないうちに心の中に蓄積し、あるとき「犯罪」という形で噴出してしまっているのではないのでしょうか。例えば、安

易に遊ぶためのお金が欲しくなってしまったとか、そういう行為によって、何か違う自分になれるのではないかと考えてしまったとか、犯罪へと走ってしまいきっかけは、意外と誰の心の中にもあるものではないかと感じます。ストレスがたまるのも、お金が欲しくなるのも、誰にでもあることです。

でも、私たち一人ひとりの心の中には、そのようなことにならないためのブレーキがあります。日ごろから、そのブレーキをお互いに大切にし合うことが、ストレスを上手に発散したり、お金が欲しければ一生懸命に働くことにつながると思います。

私は、犯罪を起こさないために、三つのことが大切であると思いました。

まず一つ目は、思いやりの心を持つことです。私は、障がいを持つ人や高齢者を前にすると、どのようなふるまいがよいのか迷うことがあります。親切にしたい、何か手助けがしたいと思っても、自分の行動が、逆に差別

につながってしまふのではないかと怖くなる  
こともあります。ですが、その迷いは、世の  
中のことや相手の気持ちを知らう、もっと勉  
強しようという第一歩目でもあります。大切  
なことは、相手の気持ちに寄りそうことで、  
よくない行動をとりそうになったときのブレ  
ーキをかけることです。

二つ目は、悩みを誰でもいいから相談する  
ことです。ため込んだ気持ちをずっと一人で  
抱え込んでいると、他人にあたりやすくなっ  
てしまったり、誰かを知らず知らず傷つけて  
しまうことも起きてしまふからです。日ごろ  
から相談できる人を持っている人は、自分自  
身も心のブレーキをかけることができる人で  
あると思います。

三つ目は、自分自身の未来を考えることで  
す。犯罪に手を染めてしまった人の家族は、  
犯罪者の家族であるとして一生指さされて、つら  
い人生を歩むことになってしまいます。そう  
いった状況にしてしまった本人も、きつと後

悔するはずです。犯罪を犯してしまうということとは、自分と家族の未来を奪うことになる  
と自覚することは、きっと強い心のブレーキ  
になるでしょう。

私はこの作文を書くことを通して、幸せに  
生きるということは案外、難しいことだと感  
じました。一人一人の人間の心は弱くて、ス  
トレスを感じたらやはり誰しも何かを傷つけ  
たくなってしまうかもしれません。そんな気  
持ちをコントロールするのは、お互いの心に  
寄りそうこと、つらいときは相談すること、  
そして、自分と周りの人たちの未来を考える  
ことだと思ふのです。一人では難しくても、  
みんなの力で幸せになろうとすること、それ  
が社会を明るくする考え方なのではないでし  
ょうか。世の中には、自分の罪を認めて罪を  
償って、立ち直ろうとしている人がたくさん  
います。そういう人たちの力になることも、  
この考え方の一つです。

私たちはまだ中学生ですが、今でもできる

ことはあります。誰かの相談に乗ること、してはいけないことを理解して、周りにも発信していくことです。みんなで作る明るい社会の考え方で、学級や学年、部活動、全校、それに地域社会の中で、責任を果たしていこうと思います。それが、社会の一員として歩んでいく上での、自分たちの生き方につながると思っています。